



広報さつま
2011

No.73

4

人々が織りなす 元気で快適な 活力あるまち

イワツツジの
花びらの中は？



- 02 平成23年度施政方針の概要
- 04 平成23年度予算
- 06 パスポートの申請交付について
- 08 まちのニュース
- 13 町グリーン・ツーリズム研究会からのお知らせ
- 14 我が校の特色ある教育活動
- 15 川内川激特 鶴田ダム再開発速報
- 16 さつまエコまめ隊の活動
- 17 さつまエコアクションだより
- 18 暮らしの情報
- 21 がんばれ認定農業者
- 22 東北地方太平洋沖地震義援金の義援金箱の設置について
- 23 誕生・おくやみ 1歳で~す 保健師だより
- 24 人・夢 休日在宅医・薬局

平成23年3月定例議会

施政方針の概要



日高政勝 町長

平成23年3月定例議会で日高町長は、「平成23年度施政方針」を述べました。今回はその一部を抜粋しお知らせいたします。なお、全文は本町ホームページにて紹介しています。

昨年、宮崎県での口蹄疫の発生による「緊急事態宣言」の発令や、今年に入ってから出水市での「高病原性鳥インフルエンザ」の発生による感染拡大防止に向けて迅速な初動防疫措置の実施体制を確立してまいりました。

また、町合併5周年という記念すべき年に併せ、記念式典や郷土芸能祭など多くの町民のご参加をいただき、盛大かつ成功裡に執り行うことができました。

ご承知のように、昨年、歴史的な政権交代が行われ、更には、昨年の参議院議員選挙において野党が過半数を占めるという、衆参ねじれ現象となったことから、今日、政局は混沌の度を一層増しております。

特に、職員の定員管理につきましても、職種毎の定数管理、権限移譲等による事務量の増加、本庁舎建設に伴う組織機構の見直しなどを踏まえ、新たに平成26年度を目標とする「定員管理計画」を策定し、適正管理に努めることといたします。

重点政策を実現するための6つの推進方策

具体的な計画（一部を抜粋）

①豊かな地域資源を核とした活力ある産業のまち

第3期対策中山間地域等直接支払制度の一層の推進 電気柵設置助成事業の拡充やワナ資格取得助成による鳥獣被害防止対策 農業者戸別所得補償制度の活用促進による所得向上

②思いやりと温かさが育む地域福祉創造のまち

町民総ぐるみの健康づくり推進対策（健康づくりコーディネーターの新設、特定検診等各種検診受診率向上 各ワクチンなど任意予防接種助成、ハットドック助成）

③教育と文化の薫る生涯学習推進のまち

「子ども図書館」の整備と読書活動推進協議会（仮称）の立ち上げ 生涯学習の推進・次世代を担う青少年の育成（「さつまの日」の定着化）

④自然と調和した便利で快適なまち

北薩横断道路の早期全線開通のため「薩摩道路」間の調査区間早期格上げ要請 既存町営住宅の長寿命化計画の策定

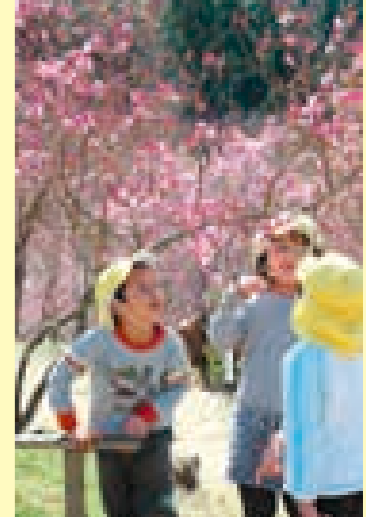
⑤人々の生活視点から創る環境美化のまち

環境基本条例の施行による環境保全の町づくり 単独浄化槽から合併浄化槽設置替えへの撤去費一部助成 クリーンセンターの一部民間委託化への取り組み

重点政策の4本柱

- ① 元気な農林業・商工業のまち宣言
- ② 子どもすこやか育成宣言
- ③ 大胆改革さつま宣言
- ④ 安心安全さつま宣言

表紙の写真説明 イワツツジの花びらの中は？ - つるだ同朋保育園児がお花見 -



3月17日、鶴田地区の上埜富雄さんのイワツツジ園で、つるだ同朋保育園児がお花見を楽しみました。晴天に恵まれたイワツツジ園では、園児たちが花びらの中をのぞいたり、鼻を近づけたり興味津々。園児たちの「きれい」の音が響いていました。

「町民が夢と希望を持てる元気なまち」を目指して

一般会計

いつもなごやか マンのまち
127億8,600万円

平成23年度予算額は、昨年度よりも5,400万円(0.4%)減額の127億8,600万円となりました。

企業収益の回復等により、税収の増加が期待される中、人件費・公債費等の削減を進める一方で、社会保障関係費の自然増など増加要因の影響もある中で、全体としては前年度をやや下回る予算規模となりました。ただ、22年度国の補正予算に関連する事業を繰り越して23年度で実施するため、全体的には前年度を上回る規模となります。

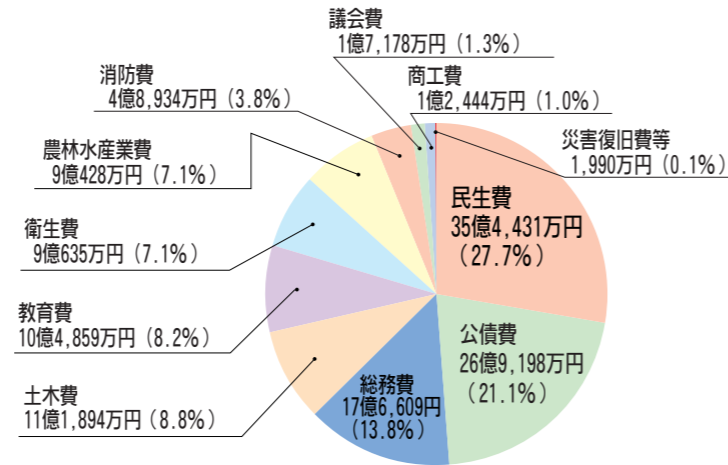
当初予算はこのような状況の中で、総合振興計画後期計画の重点プロジェクトを基本としながら、町政マニフェストに掲げる4つの重点政策(3頁に掲載)を中心に、限られた予算で特色のある施策を推進するための予算が編成されました。

■町民一人あたりに使う予算は、53万1,687円

民生費 147,385円	公債費 111,942円	総務費 73,440円	土木費 46,529円
教育費 43,604円	衛生費 37,689円	農林水産業費 37,603円	消防費 20,349円
議会費 7,143円	商工費 5,175円	災害復旧費等 828円	

※平成23年3月1日現在の推計人口：24,048人

【歳出】 合計 127億8,600万円



■平成23年度の主な事業

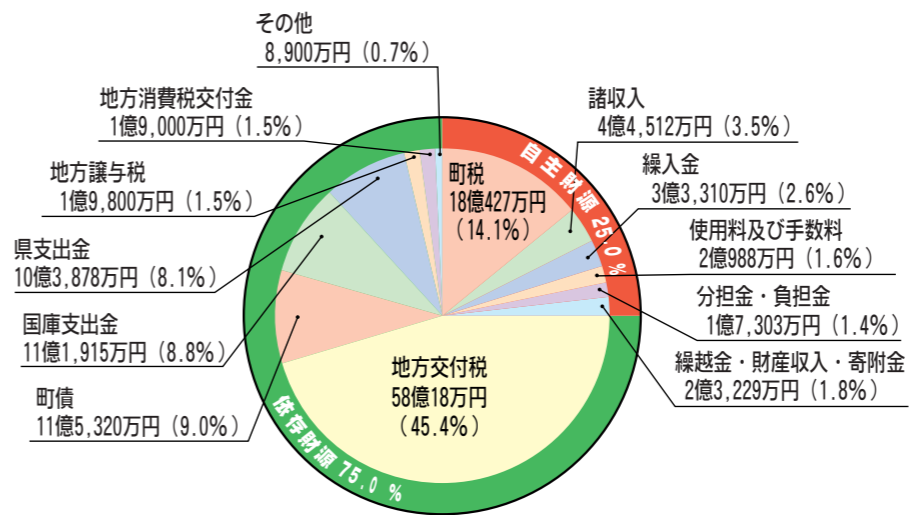
- 議会費 1億7,178万円**
(前年度比 3,636万円の増)
・議員共済費、所管事務調査費
- 総務費 17億6,609万円**
(前年度比 3,598万円の増)
・地域元気再生事業費
・庁舎建設計画に伴う地質調査・設計経費等
・公民会無線放送整備補助費
・永野地区テレビ共同受信施設整備費
・地域コミュニティバス運行助成費
・県議会議員、農業委員選挙費
- 民生費 35億4,431万円**
(前年度比 3,664万円の増)
・子ども手当、保育所運営費
・ひとり親家庭、後期高齢者医療費
・児童療育支援、児童デイサービス費
・社会福祉協議会運営補助費
・シルバー人材センター運営補助費
・介護保険事業費
- 衛生費 9億635万円**
(前年度比 8,350万円の増)
・子宮頸がんワクチン・ヒブワクチン・肺炎球菌ワクチン等予防接種費

- ・乳幼児医療助成費
- ・女性特有(子宮、乳)がん検診費
- ・不妊治療助成費
- ・浄化槽設置の助成、し尿ごみ処理費
- 農林水産業費 9億428万円**
(前年度比 4,928万円の増)
・農業者戸別所得補償制度推進事業費
・竹林、森林整備、基幹林道作業道開設費
・相原地区、宮之城地区ほ場整備事業費
・肉用牛振興事業補助費
・農産物加工施設整備補助費
・有害鳥獣捕獲事業費
- 商工費 1億2,444万円**
(前年度比 984万円の増)
・観光キャンペーン推進事業費
・空き店舗調査、買い物支援等委託費
・旅館業等施設整備事業補助費
・さつま町PRラジオ放送委託費
- 土木費 11億1,894万円**
(前年度比 4,274万円の減)
・道路整備事業費(15路線)
・県単急傾斜地崩壊対策事業費(3地区)
・公営住宅建設費(2棟4戸)

- 消防費 4億8,934万円**
(前年度比 5,486万円の減)
・中津川分団ポンプ自動車購入・川原分団車庫新築工事・久富木分団小型ポンプ購入費
・消防緊急通指令施設更新、訓練場整備費
- 教育費 10億4,859万円**
(前年度比 6,061万円の減)
・学校活性化推進事業費
・区公民館運営補助・施設整備補助
・図書システム整備・教科書改訂・施設整備費
・鶴田中学校プール改修費
・特別教育支援員等配置事業費
・給食センター食器等更新費
- 災害復旧事業費 1,490万円**
(前年度比 1,003万円の増)
・農地・農業用施設災害復旧費
・道路橋梁河川災害復旧費
- 公債費 26億9,198万円**
(前年度比1億5,742万円の減)
・平成23年度償還予定の元金及び利子、一時借入金利子
- 予備費 500万円**
(前年度同額)

【歳入】 合計 127億8,600万円

自主財源 31億9,769万円
依存財源 95億8,831万円



■特別会計等の予算規模

国民健康保険事業特別会計	31億6,608万円
後期高齢者医療特別会計	3億103万円
介護保険事業特別会計	28億3,823万円
介護サービス事業特別会計	2,426万円
農業集落排水事業特別会計	4,310万円
水道事業会計(支出総額)	1億6,912万円
簡易水道事業会計(支出総額)	3億4,399万円

●歳入(入るお金)

景気低迷の影響を受けた昨年度に比較し、町民税や固定資産税等の増額が見込まれるものの、町債(借入金)が臨時財政対策債(※左記「■町債(借入金)」の項目参照)の減額などにより大幅に減額されました。

しかし、国の地域活性化交付金事業を平成22年度から23年度へ繰り越したことから、実質的には前年度以上の歳入が見込まれています。

歳入を占める割合の多いものとしては、地方交付税45.4%、町税14.1%、町債(借入金)9.0%等となっています。

■自主財源と依存財源

自分の町で賄っている収入(自主財源主(町税))は、31億9,769万円で、全体の25.0%(前年度比1.9%増)、逆に国庫支出金などに依存している財源は、95億8,831万円で75.0%(前年度比1.2%減)となっており、国庫の施策の動向に左右されやすい状況にあります。景気回復の兆しがある中で、町税等の自主財源比率がわずかに伸びる見通しですが、引き続き慎重な財政運営が求められます。

■町債(借入金)

建設事業の財源や歳入の不足を補うため借り入れる町債は、11億5,320万円で前年度の当初予算と比較すると、2億9,830万円の減と大幅な減額となりました。これは、国税の減収等により地方交付税の財源不足が生じた場合に減収分の補てん措置として町が発行する赤字地方債(臨時財政対策債)が大幅に減額となったことなどが影響しています。

なお、臨時財政対策債は、後年度の地方交付税において、元利償還金(返済金)の全額が国から補てんされます。

■基金(貯金)

歳入の不足を補うために繰り入れる基金は、3億3,310万円となっています。前年度の当初予算と比較すると、1億660万円の増となっています。

これは一般廃棄物処理施設の整備に充てる一般廃棄物処理施設維持補修基金や財源不足を補ったり、災害など緊急時に対処するための財源に充てる財政調整基金等の増額によるものです。

●歳出(使うお金)

歳出の費目ごとの割合は、民生費(社会福祉費関係)27.7%、公債費(借入金の返済金)21.1%、総務費13.8%、土木費8.8%、教育費8.2%などの順で予算に占める割合が高くなっています。公債費や土木費等が減少する一方で、高齢者対策事業や子育て事業などを盛り込んだ民生費や、健康づくり事業や地域医療事業などを盛り込んだ衛生費などが増加しています。今後、国庫の補助事業の採択や確定に伴う追加事業、自然的要因に左右される災害復旧事業などの補正が見込まれます。

■公債費(借金の返済金)

平成21年度末における借入金の残高は、190億6,988万円となり前年度より12億4,303万円減少しました。行革の効果で借入金残高は大幅に縮小してきましたが、依然として年間予算額を超える大きな金額となっています。これに対する年間の元金返済額は26億8,787万円となりますが、このうち50%程度は交付税として国から助成されます。

Q5 名前や本籍地が変わった場合は、何か手続きが必要ですか？

A5 パスポートに書いてある事項（氏名・本籍など）に変更が生じた場合は、原則的にはそのパスポートを返納して、新規発給申請をしなければなりません。ただし、変更が生じた事項が、姓、名、または本籍の都道府県名であれば訂正申請を行うこともできます。
例えば、結婚して姓が変わった場合は訂正申請することが可能です。ただし、パスポートのサインは訂正することができませんので、サインも変えたい場合は新規発給申請を行う必要があります。なお、訂正申請はパスポートの追記ページに訂正記載を行うもので、顔写真の印刷されているページ及びICチップに記録された情報は、変更できません。

Q6 パスポートの最後のページに自分の住所を記入する欄がありますが、そこに書いた住所から引っ越しました。変更を届け出る必要はありますか？

A6 変更を届け出る必要はありません。
所持人記入欄は、旅券所持人の氏名や現住所等を任意で記入する欄ですので、住所が変更になった際に以前の住所を二重線で消した上で、欄内に新たな住所を書くことができます。ただし、所持人記入欄がいっぱいになったからといって、査証欄等の他のページに住所等を書き込まないでください。

Q7 10年用のパスポートを申請する予定ですが、小学生の子供も10年用を取得することができますか？

A7 できません。
20歳未満の方は、容貌の変化が著しいため5年用のみの申請になります。



Q8 町外へ通勤しているため役場へ申請に行くことができません。

A8 代理提出もできますが、受け取りは必ず本人になります。
勤務先地の県の窓口で申請することもできますので、最寄りの県の窓口にお問い合わせください。

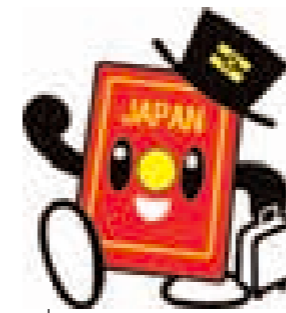
Q9 もうすぐパスポートの有効期限が切れるので申請する予定ですが、パスポートの番号は変わりますか？

A9 パスポートは免許や資格とは違い、更新という制度はありませんので、申請の都度同じように審査した上で発行されます。そのため、全く新しい番号になります。

Q10 海外旅行に出かける際「パスポートは命の次に大切なもの」と言われますが、なぜですか？

A10 パスポートを開くと、実際に外務大臣の名において「日本国民である本旅券の所持人を通路故障なく旅行させ、かつ、同人に必要な保護扶助を与えられるよう関係の諸官に要請する」と書かれています。それは、外国において単なる『通行証』だけではなく、日本人であることを証明してくれる『国籍証明書』の役割になります。また、保護要請の役割も果たしてくれます。
ですから、旅行先で紛失したり盗難にあわないように管理を行うことはもちろんですが、自宅においても大切に保管してください。

お問い合わせ先
役場 本庁 町民課 町民係（内線 2123・2124）
かごしま県民交流センター パスポート窓口 電話 099-221-6611



詳しくは2月号の広報紙または町のホームページをご覧ください

**県の窓口は原則
利用できません**
ご注意ください



INFORMATION

**4月から
役場でのパスポートの
申請受付・交付事務が
始まりました**

よくある質問をまとめてみました

Q1 1歳に満たない赤ちゃんでも、外国に行くのにパスポートが必要ですか？

A1 必要です。
パスポートの申請は親権者が代理申請をすることになります。
また、パスポートの受取りの際は、名義人が本人であることを確認する必要があるため、お子様にも窓口に来ていただく必要があります。

**Q2 写真はデジタルカメラで撮影したものでいいですか？
また、ボックス写真やスピード写真でもいいですか？**

A2 写真が鮮明でパスポート用の規格に合っていれば受付ができますが、規格が細かく、合わない場合は取り直しをお願いすることがありますので、できるだけ写真店での撮影をお願いします。

Q3 家族で申請するのですが、戸籍はそれぞれ人数分必要ですか？

A3 同一戸籍のご家族が同時に申請するときは、申請者全員が記載されている戸籍謄(抄)本1通で結構です。ただし、別々に申請するときは、それぞれご自分の戸籍謄(抄)本が必要となります。また、2枚以上になっている戸籍謄(抄)本を取り外してしまうと証明書としての効力がなくなりますのでご注意ください。

Q4 婚姻届を提出したばかりで新しい戸籍がまだできていません。

A4 本籍地と婚姻届を提出した市町村が異なる場合、新しい戸籍ができるまでに1~2週間程度かかる場合がありますので、時間の余裕があるようでしたら新しい戸籍ができてから申請してください。余裕がない場合は、婚姻届を提出した役所で「婚姻届受理証明書」を発行してもらい、申請時に戸籍謄(抄)本に替えて提出してください。この場合、パスポートを受け取る際に新しい戸籍謄(抄)本を提出していただくことになります。

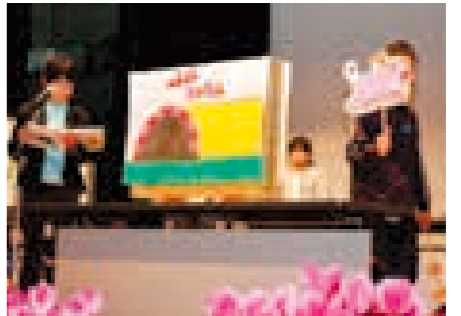


パスポート写真の規格

未来に輝け 元気あふれる さつま町

第6回さつま町民大会

第6回さつま町民大会が2月20日宮之城文化センターで開催されました。流水小学校親子読書会が元気にオープニングで活動発表をされ、ジュニア・リーダークラブ「ほたる」・町高校生クラブによる町民憲章朗読のあと、各種表彰式、健康づくり推進の町宣言やさつまふるさと体験塾生による体験発表、生涯学習の成果発表などが行われました。



オープニングを飾った、流水小学校親子読書会

また、ダニエル・カール氏による「すばらしきニッポンの魅力に取り付かれて」と題した記念講演があり、私たちが日常の生活の中で忘れてきているふるさとを大切にふるさとを交えながら話されました。



ユーモアたっぷりのダニエル・カールさんの記念講演

その他にも、福祉団体によるフリーマーケットや高齢者学級、生涯学習受講生による作品展示もありました。さつま町の未来に向け、町民のみならずと一体となった元気あふれるまちづくりに努めてまいります。



声高らかに「健康づくり推進の町宣言」



半袖姿で「中種子体験交流」の発表を行う、さつまふるさと体験塾生

立派な自衛官を目指して

さつま町自衛隊入隊者壮行会 募集相談員委嘱式

3月4日、町と町自衛隊父兄会主催による「平成23年自衛隊入隊者壮行会」と「募集相談員委嘱式」が行われました。今年度は、さつま町から4名の方が自衛隊に入隊されます。

壮行会では、町長、町自衛隊父兄会長、自衛隊鹿児島地方協力本部長等から激励の言葉が贈られました。入隊者を代表して、内山将吾さんが、「今日の壮行会を忘れることなく、さつま町を代表するという気持ちをもつて、立派な自衛官になれるよう頑張ります」と決意を述べられました。

また、自衛隊募集相談員の委嘱式も行われ、町と自衛隊鹿児島地方協力本部から募集相談員として5名の方に委嘱を行いました。平成23年の入隊者と募集相談員は、次の方々です。(敬称略)



前列左から、中園さん、木場さん、恵さん、内山さん

- 陸上自衛隊 入隊先
- 【国分113教育大隊】
 - ・内山 将吾(五日町)
 - 【普通科110教育大隊】
 - ・恵 貴哉(ウツドタウン)
 - ・木場 秀美(柘野上向江)
 - 【えびの第24普通科連隊新隊員教育隊】
 - ・中園 将希(湯田中)
- 募集相談員
- 川口 憲男(上川口)
 - 前田 彰(草田)
 - 久保 道夫(別野)
 - 井手原 清美(上向中)
 - 竹中 修一(木波)

元気にトライ!

ちびっこラグビー大会

2月19日、北薩広域公園多目的広場において「第6回タグラグビーinかくや姫グラウンド」が開催され、町内の小学校から13チームが参加しました。当日は、試合前に、日本特殊陶業ラグビー部によるラグビーの基本を学びました。

試合は、腰に着けた2本のタグベルトを、お互いに取ったり、取られたりしながら、相手のゴールを目指す競技で、各チームは、グラウンドいっぱい走り回り、トライを目指しました。閉会式では、鹿児島県ラグビー協会から、日本特殊陶業ラグビー部へタグラグビーセット50組が贈られました。今後、タグラグビーの普及のために使われます。



熱戦が繰り広げられた会場

- 成績は、次のとおりです。
- 優勝 山崎ビートルズ (山崎小)
 - 準優勝 佐志っ子ファイターズ (佐志小)
 - 第3位 盈進レツドタグハンターズ (盈進小)
 - 第3位 永野ファイターズ (永野小)

土砂災害に関する絵画・作文コンクール優秀賞



伝達式終了後の東翔矢さん(左から3人目)

3月9日、平成22年度「土砂災害防止に関する絵画・作文」の表彰伝達式が、佐志小学校で行われました。これは例年、土砂災害防止月間の行事の一環として行われるもので、今年度は全国各地から計4,552点の絵画や作文が寄せられました。

審査の結果、佐志小学校3年生の東翔矢さんが、作文(小学生の部)で国土交通省事務次官賞(優秀賞)と県知事賞(最優秀賞)に輝き、この日の伝達式となりました。

自作視聴覚教材コンクール優秀賞受賞

鹿児島県視聴覚教育連盟による平成22年度鹿児島県自作視聴覚教材コンクールの動画部門で、宮之城人形の復興会の「宮之城人形復興会の「宮之城人形をつくろう」土人形の歴史と作り方」のDVD作品が優秀賞を受賞しました。

2月19日、県民交流センターで行われた授賞式には、宮之城人形復興会会長の出水堤治郎さんと、DVDの撮影・編集を行った野崎正寛さんが出席しました。学校における教材制作の取り組みが数多く受賞する中、郷土の伝統工芸の歴史や文化を題材に紹介した作品で受賞したことは、今後の宮之城人形の活動に大きな励みになりました。



伝達式終了後の記念撮影(左から2人目が出水会長)

木造建築施工 現場実習

宮之城高等技術 専門校



宮之城中学校敷地内に完成した倉庫

宮之城高等技術専門校の訓練生23人に、同校指導員の指導のもと、木造建築施工現場実習で、宮之城中学校敷地内に倉庫を新築していただきました。

実習期間は12月10日から2月28日までの42日間で、必要な材料費のみを町が負担し、建築面積17.5m²の立派な倉庫が完成しました。完成した倉庫は、学校移転により不足していた技術家庭科倉庫として活用されます。



小雨の中をいっせいにスタート(3kmコース)

雨ニモマケズ駆け抜けろ!

第1回ほたるの里ジョギング大会

3月6日、第1回ほたるの里ジョギング大会が神子地区コミュニティセンター前発着周辺コースで開催されました。

当日は、あいにくの小雨まじりの天気となりましたが、町内外から約300人が参加しました。

沿道から多くの声援を受けながら、ランナーは健脚を競いました。

競技を終えた参加者は、地元の人々の用意した「豚汁」で冷えた体を温めていました。

町内1位の成績は次のとおりです(敬称略)

5kmコース
中高一男子
大園裕太(神子)
17分04秒



5kmコース中高一男子の部、町内1位の大園選手

一般女子
祝迫さおり(二渡)
20分18秒

3kmコース
中高一男子
大園真司(虎居)
10分37秒

中高一女子
新森真優(虎居)
11分52秒

剣道VS銃剣道の試合も

第6回さつま町剣道大会

2月27日、宮之城中学校体育館で第6回さつま町剣道大会が開催され、約100人の剣士が日頃の成果を競いました。

大会に先立ち、剣道・居合道・銃剣道の形披露と、剣道対銃剣道との異種試合も行われました。

- 小学生団体低学年の部
- 薩摩剣道スポーツ少年団小学生低学年個人戦の部
- 大田一徹(薩摩剣道館)小学生高学年個人戦の部
- 今村奈美(平川)中学生男子個人戦の部
- 今西拓(宮之城)高校女子個人戦の部
- 大野美空(薩摩中央高)高校男子個人戦の部
- 井上翔太(薩摩中央高)職場・職域対抗の部
- さつま町役場支部対抗の部
- 屋地・虎居支部



銃剣道(左)対剣道の異種試合

各部門ごとの優勝者は次のとおりです。(敬称略)

小学生団体高学年の部
平川剣道スポーツ少年団A

本町初!居合道6段剣士誕生

神子 登尾光子さん

神子地区の登尾光子さんが、昨年11月に東京都で開催された居合道の6段審査会で235人中38人合格の狭き門を見事突破されました。

合格された登尾さんは、「居合道のことを少しでも知ってもらい、今後競技人口の拡大につながればうれしいです」と喜びを話されました。



町剣道大会で居合道の形を披露する登尾さん

宇宙公開講座を実施

3月6日、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の阪本成一先生による「宇宙公開講座」が宮之城文化センターで開催され、子どもや保護者など67人が参加しました。

宇宙の面白いお話や工作、実験を楽しんだりしながら、たくさんの方に宇宙をもっと身近に感じてもらうことと開催されたものです。

衛星やロケットの打ち上げの仕組みについて、実際に小さなロケットを作り、飛ばしてみました。



講師の阪本先生を囲んで記念撮影

宮農の門出を励ます会

薩摩中央高校



校長先生から記念樹を受け取る対象者

2月18日、薩摩中央高校を今春卒業し将来、自営を含め農業関連への進路が内定された6人を励ますため、同校で「門出を励ます会」が開かれました。

生物生産科、農業工学科の3年生から1年生が見守るなか、対象者からそれぞれ抱負が述べられました。

町内の花き農家に就職が内定した児島るいさんは「これまで取得した資格を活かし経営の仕事に就きます。会社では海外進出を視野に入れているということなので、語学の勉強もしながら仕事に慣れていきたい」と力強く抱負を話されました。

話し合いを大切に

家族経営協定調印式

2月21日、役場において農家の家族間で経営方針や役割分担、労働報酬などの取り決めを交わす、家族経営協定(新規協定締結農家4家族、協定内容の見直し家族の合計5家族)の調印式が行われました。

式では、町長、町農業委員会会長、北薩地域振興局農政普及課長の立会いのもと、協定書に家族毎に調印後、協定締結農家を代表して古城敏さんが今後の抱負を述べられました。

今回の新規4家族を加え町内の家族経営協定数は59家族となりました。



調印式終了後の様子

公民会合併

「新岩元公民会」が発足

永野区の新地公民会と岩元公民会の合併調印式が、2月19日に関係者立会いのもと行われ、4月1日から新しい公民会「新岩元公民会」として公民会活動を開始しています。

これにより、平成17年の新町発足時に156あった公民会が139になります。過疎化による戸数の減少や少子・高齢化などにより活動が難しくなってきた面がありますので、町としても公民会の合併を進めています。

新しい公共交通の体系が固まる

3月7日、第3回地域公共交通活性化協議会(会長日高政勝町長ほか16人)が開催されました。

協議会では、公共交通を取り巻く要因が大きく変化してきている中で、利用者にとって利便性・快適性が高く、効率的で持続可能な公共交通体系の構築を目指す。策定された計画書では、運行便数の増や、デマンド運行など新たな運行方法の導入などが盛り込まれています。

また、事業の実施にあたっては、検証・評価がなされることとなっています。今後は、住民説明会を開催し、本年秋季以降、計画書に沿った実証運行を始めることが報告されました。



会議の様子



宮之城ライオンズクラブから図書購入費の寄付

宮之城ライオンズクラブ結成45周年を記念して、同クラブから「読書環境の整備を図って欲しい」と町に多額の寄付金がありました。町では読書による豊かな心の醸成に努めており、心ので、さっそく「ライオンズ文庫」を設置し、活用していく予定です。

修学旅行の「受入家庭」を募集します

～ 修学旅行生宿泊の受入れをしてみませんか ～

さつま町グリーン・ツーリズム研究会は、平成19年3月に発足し、都市と農村の交流を図り、農林漁業に対する理解促進や経済効果を含めた地域活性化を推進するため、各種農業体験、森林体験、農家民宿等の活動を行っています。

このたび、平成23年3月の九州新幹線全線開通により、都市から農村への修学旅行の受入増加が予想されることから、当研究会では、修学旅行の「受入家庭」としてご登録いただける家庭を募集します。

「受入家庭」は、「農家民宿」とは違い、許認可の必要がなく、また農家である必要もありません。当研究会への加入と併せて、ぜひお申し込みください。



※写真はイメージです



- ★募集戸数：30戸
- ★受入実施時期：平成23年5月～
- ★受入事項（詳細は、申し込み時に）
 - ・受入は、一受入家庭あたり、3～4人。
 - ・対象は主に中学・高校の修学旅行です。
 - ・食事の調理は、生徒と一緒に作ります。

- ★修学旅行受入のメリット
 - ・地元産品の消費などを中心に地域の活性化が図られます。
 - ・受け入れた家庭には、規定により、受入料金が支払われます。
 - ・参加した子どもたちは、体験したその町をPRしてくれます。

主催：さつま町グリーン・ツーリズム研究会

お問い合わせ先：役場 農政課(内線2422)

九州新幹線全線開業記念イベントで 「さくら市フェア」

3月5日から6日にかけて、福岡市のJR博多シティ内JR九州ホールで鹿児島県主催の九州新幹線全線開業記念イベント、おじゃつたもんせ鹿児島「さくら市フェア」が開催されました。両日は、観光協会、五ツ太鼓保存会（小牟田流）が参加し、来場者に町のパンフレット、イベントチラシ等を配布しました。



黄色のハッピを身にまといパンフレットを配る

ちくりん鍋でも 町をPR

3月12日から13日にかけて、薩摩川内市の川内駅東口において「第8回きやんせふるさとフェスタ」が開催され、グルメコンテストに「ちくりん鍋」を出品し、多くの来場者で賑わった会場で販売しました。

また、両日は、出水駅でも特産品販売や観光PR等のイベントが行われ、町内の特産品販売所等が展開しました。両会場では、買い物をした方に、町のイベントチラシ等を配布し、町をPRしました。



好評だった「ちくりん鍋」

初めての応募で 優秀賞

濱川洋さん

佐志ニュータウンの濱川洋さんが、第12回MBC桜島美術展で優秀賞に輝きました。

この美術展は「桜島」「ふるさとの山」「花」のいずれかをテーマにした洋画・日本画・工芸の作品を広く一般から募集するもので、今回は375点の作品が寄せられました。

濱川さんは昨年の夏頃から絵画を始められ、今回初めて応募されました。「夕映えの紫尾山」と名付けられた受賞作品は、濱川さんが日頃から眺めている大好きな紫尾山が描かれています。



濱川さんと受賞作品の「夕映えの紫尾山」

かごしまグリーン・ツーリズムフォーラムinさつま町

2月18日、薩摩農村環境改善センターで「かごしまグリーン・ツーリズムフォーラム」が開催され、県内の関係者約200人の参加がありました。

このフォーラムは、県内で農家民宿や農林漁業体験などグリーン・ツーリズムに取り組む個人・団体が一堂に会し、今後の活動につながる先駆的な取り組みを学び、交流を深めることを目的として行われたものです。会終了後の交流会では、さつま町グリーン・ツーリズム研究会食育部が腕を振るい、地元の食材を使った料理が振舞われました。交流会後は、約40人の方が、町内の農家民宿（町内9件）を利用されました。



活発な意見が出たフォーラム

虎居分団消防車庫 交付式

虎居分団消防車庫が虎居地区公民館横に完成し、3月6日に交付式が行われました。

これまでの旧消防車庫は築30年を経過し、老朽化も進んでいたことから消防整備計画に基づき、新しく建設されたものです。

新しい消防団車庫は、鉄骨平屋造96㎡で、車庫のほかに団員の待機室も備えられています。

今後虎居地区の防災拠点及び住民への情報発信基地としての活用が期待されています。



交付書を日高町長から井手原分団長へ



美しい自然を汚すのは誰だ！

住民の監視強化へ

2月26日、白男川の県道東郷山田宮之城線の薩摩川内市境から二渡方面に抜ける峠下林道線沿いにおいて、白男川区民や役場職員有志で結成されている、さつま工コまめ隊の総勢18名が集まり、不法投棄回収作業が行われました。



竹や木が生い茂る林道沿いに大量のゴミが投棄されているのを見て、参加された白男川区民の中から「こんなになってくるとは知らなかった」と驚きの声があがっていました。約3時間の作業の末、回収されたゴミは、2トンド



ンブ4台分の2、890kgにも及び、その場で分別まで行い、町クリーンセンターへ搬入されました。

なお、投棄されていたゴミの中には、洗濯機や冷蔵庫等の家電製品も数台ありました。エアコンやテレビ、冷蔵庫、洗濯機等は家電リサイクル法により、リサイクルが義務付けられており、クリーンセンターへは搬入できません。通常は、消費者がリサイクル手数料や収集・運搬料金を支払って、廃棄物を家電販売店等に引き取ってもらわなければなりません。今回のような不法投棄の場合は、町がリサイクル手数料を負担することになります。

現在、町内20地区の公民館には、町より委嘱された環境美化推進員が日々巡視等の活動をされています。不法投棄に関してはより一層の監視強化が求められていることから、平成23年度予算として新たに、ふるさと環境保全推進事業を実施し、不法投棄の監視等に取り組んでいきます。



さつまエコアクションだより

VOL.9

ふるさとの川、きれいな水を未来へ

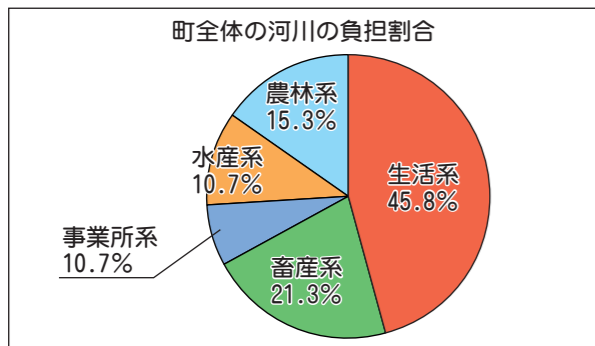
今回は、公共用水域(※1)の水質保全として、平成21年度に県が実施した身近なふるさと川の総合調査事業(※2)の調査結果についてお伝えします。

水質を調査した結果、28河川全てで鮎が棲めて水道用水として利用可能な環境基準であるB類型(BOD3.0mg/L以下)(3)相当の水質となつています。

グラフの町全体の河川の負担割合(川を汚す原因)を見ると、生活系が45.8%と最も高くなつており、一般世帯から排出される生活排水が原因であると考えられます。

町では、ふるさとの美しい川を守るための生活排水対策として、合併処理浄化槽設置整備事業や農業集落排水事業を実施しています。

農業集落排水整備地区の時吉・広瀬・田原の一部を除いて、合併処理浄化槽を設置されると補助金が交付されますので、一度検討されてみてはいかがでしょうか。なお、単独浄化槽から合併浄化槽への設置替えについても補助金が交付されます。



- (1)公共用水域.....川や海、湖・沼など
- (2)調査.....水質調査と汚濁要因調査
水質調査対象河川は、28河川で実施
浅井野川・穴川・荒瀬川・海老川・豌豆川・大山口川・北方川・久富木川・五反田川・泊野川・びわ川・南方川・黒田川・東谷川・堀田川・大薄川・前川・夜星川・柳野川・浦川内川・紫尾川・平江川・栗野川・高嶺川・中間川・求名川・南川・荒田川
なお、上記河川に川内川・瀬早川・大王川・西ノ山川を加えた32河川は、人口や生活排水等の状況から汚濁負荷量を算出する汚濁要因調査を実施
- (3)BOD.....一般的に川の汚れの度合いを表す指標のことで、数値が大きいくほど汚れていることとなります。

出典；平成21年度身近なふるさと川の総合調査事業報告書
CLEAN RIVER 2010 鹿児島県のふるさとの川水質マップ

思いきってでかけてみよう!!

ライフスタイルや価値観の多様化により、晩婚化や未婚者が増加している近年ですが、これは人口問題に起因する様々な社会制度にも大きく影響しています。地方においても、高齢化や人口の減少が進み、農業や商業をはじめとした後継者の育成・確保にも大きく影響しています。そのため町としても地域やボランティア団体などが主催する出会いのイベントを支援しています。

■ボランティア団体 “アイビス倶楽部”の活動紹介

◆◆◆ 田舎にいるとなかなか出会いがない・・・そんなみんなのお手伝いをします ◆◆◆
ボランティア団体“アイビス倶楽部”は、独身者限定の会員制倶楽部(レクリエーション青年団)で、設立してちょうど1年になりました。
春のトレッキング(登山)から始まり、1泊2日のキャンプ、花火大会、ゴルフにお料理教室など、様々な企画で楽しく活動されています。今では、倶楽部内で決めたニックネームで呼び合い、会員同士楽しくうちつけて活動していきなで、2組のカップルも誕生しました。
今期も新しい仲間を加え、さらに楽しい倶楽部になることは間違いなしです!!

～◆一緒に仲間づくりをしませんか!?◆～

- 入会条件：年齢20歳から35歳くらいまでの独身者
 - ・男性：さつま町または伊佐市にお住まいかお勤めの方
 - ・女性：エリアは問いません
- 活動日：主に土日の活動で、年間を通して7回程度予定
- 入会金：1,500円(※3年間有効)
- ※倶楽部活動の際は、入会金とは別に2～3千円程度の費用が必要です。
- ※その他詳細につきましては下記へお問い合わせください。

○お申込み・お問い合わせ先
アイビス倶楽部 設立事務局
(インターナショナルゴルフリゾート京セラ内)
TEL0996-57-1313

○お問い合わせ先
役場 企画課 地域振興係
(内線2226)

■これまでの主な活動

- 5月 みやまきりしまトレッキング
- 7月 サマーキャンプ(人吉市)
- 8月 錦江湾サマーナイト花火見物
- 9月 ゴルフレッスン会(IGR京セラ)
- 10月 鹿児島シティビュー・オリエンタリング(鹿児島市)
- 2月 家めしお料理教室(さつま町) 親睦会(薩摩川内市)

我が校の特色ある教育活動

町内の小中学校では、どの学校も町長マニフェストを踏まえた特色ある教育活動が行われています。各学校の取り組みを、毎月2校ずつ紹介していきます。今月は、永野小学校と宮之城中学校です。



下津義弘 校長

校訓 「望み大きく、たくましく」
本校のキャッチフレーズ
 「人・自然にふれあい、あいさつのこだまする学校」
児童33人 4学級 職員11人 PTA26戸



澁谷慎二 校長

校訓 「自主 好学 協力」
本校のキャッチフレーズ
 「ナイスイメージ宮中 みんなで創る 新たな歴史 真剣学習 真剣部活で 誇れる宮中」
生徒317人 10学級 職員27人 PTA315戸

永野小学校

1 個に応じた学習指導の充実

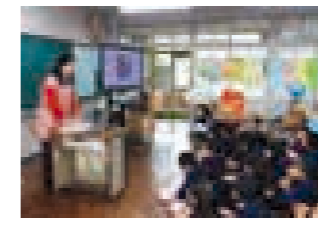
小規模校の特性を生かし、一人一人の子どもの確かな学力を定着できるよう取り組んでいます。朝の活動では、読書タイムの他に補充指導やチャレンジタイム、漢字指導の充実を図っています。

2 幅広い人権同和教育の充実

年間を通して、全教育活動で人権同和教育を推進しています。中でも週1回のキラキラタイムでは、異年齢での遊びや仲間づくりのゲームをしたり、いじめ防止や社会的弱者への理解を図るための教師説話を輪番で組み入れたりして、子どもたちの人権意識の高揚を図っています。また、年1回は保護者や地域の方々を対象に、障害のある方やヒューマンリストとして活躍されている方を講師に人権教育講演会を開催し、学校・家庭・地域が連携した人権同和教育の推進に努めています。

3 家庭と連携した食育の推進

「手作り弁当に挑戦しよう」と題した取組で食育の推進を図っています。主体的な調理体験を通して、健康の大切さに気付いたり、望ましい食習慣を身に付けたり、そして、感謝の気持ちや社会性を育てたりすることをねらいとしています。低学年では「弁当作りの手伝いをしよう」、中学年では「お家の人といっしょに弁当作りをしよう」、高学年では「自分の力だけで弁当作りをしよう」をテーマに実践し、保護者も驚くほどの出来映えのお弁当が出来るようになるようになっています。



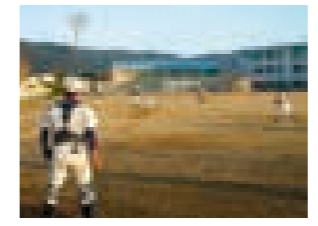
宮之城中学校

1 確かな学力の向上

言葉を学び、感性を磨き、表現力を高め、創造力を豊かにするために「朝読書」を毎日20分展開しています。これは、思考・判断・表現力等の確かな学力を向上させるとともに、落ち着いた雰囲気中学校生活を始めるためです。

2 部活動の充実

本校には、運動系13、文化系2、計15の部があり、生徒の8割弱が所属しています。本校の部活動のモットーが「真剣学習 真剣部活で誇れる宮中」であり、顧問教師の共通理解のもと活動しています。最近では、往年ほどの成績を残していませんが、昨年の女子駅伝全国大会出場、昨年の男子バレーボールや女子卓球団体の九州大会出場、個人での柔道、中・長距離走等の全国大会出場があります。また、吹奏楽部や美術部も県内コンクールで上位入賞もしています。



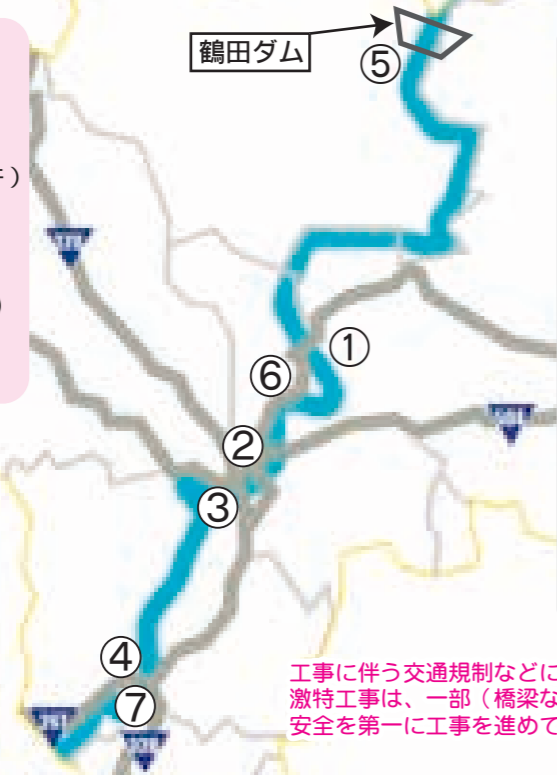
3 さつまいもで学ぶ、さつまいもを学ぶ「さつまいも学習」

昨年度、1年生は町内25の農家等で農業実習体験を行いました。3年生は、社会福祉体験で、町内14か所の保育園や特別養護老人ホーム等で、保育や介護の実習を行いました。今年度は、3年生で職場体験学習を計画しています。町内で各種体験活動を行うことは、町のよさにふれ、さつまいもを誇りとする態度を養うとともに、生徒なりに町の産業や福祉事業等について考える契機ともなっています。



川内川激特・鶴田ダム再開発速報

- 【北薩地域振興局関連工事】
 (平成23年3月10日現在)
 柏原地区
 ・夜星川橋工事(1件)
 ・護岸・取付道路工事(3件)
 虎居地区、宮之城屋地区
 ・宮都大橋工事(6件)
 山崎地区
 ・護岸・取付道路工事(6件)
 ・東橋工事(3件)
 ・山崎橋工事(4件)

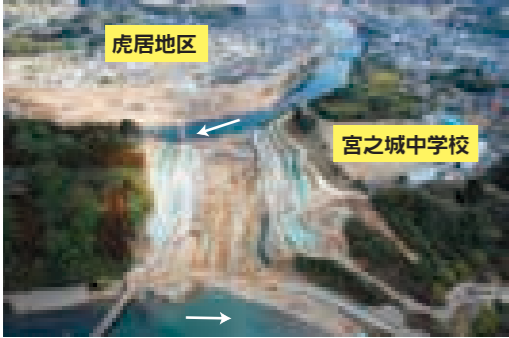


- 【国土交通省関連工事】
 (平成23年3月10日現在)
 激特事業関連工事 計23件
 湯田地区
 ・築堤護岸工事(2件)・樋門工事(1件)
 虎居地区
 ・築堤護岸工事(11件)
 推込地区
 ・分水路掘削工事(2件)
 二渡地区
 ・築堤工事(5件)・樋門工事(2件)
 鶴田ダム再開発事業関連工事 計4件
 神子地区
 ・工事用道路関連工事(1件)
 ・法面処理工事(1件)
 ・施設改修工事(1件)
 ・上流仮締切工事(1件)

工事に伴う交通規制などについて(お願い)
 激特工事は、一部(橋梁など)を除き6月末で終了予定です。引き続き安全を第一に工事を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

《今月の現場写真》 場所：推込分水路

現在、推込分水路はほぼ底盤まで掘削が完了しており、今後一部残っている掘削と仮置きしている土砂搬出を行っていきます。また、両岸の巨石積護岸及び虎居地区側の呑み口部に石張施行を行っています。



▲下流側より虎居地区を望む



▲石張り施工状況写真

推込分水路
航空写真(H23.2月末撮影)

■お問い合わせ先■

国土交通省川内川河川事務所 (0996)22-3271
 激特事業に関すること 工務課
 鶴田ダム再開発事業工事に関すること 工事課
 激特事業工事に関すること 宮之城出張所 (0996)53-1756

鹿児島県北薩地域振興局 建設部
 河川港湾課 河川砂防第2係 (0996)23-5151

町民課 町民係
内線 2125

● 年金相談

年金加入記録や受給手続きなどについての『移動年金相談所』を開設します。

本年度より年金相談は、完全予約制になりましたので、年金の請求手続き及び質問や相談などがありましたら、4月20日(水)までに相談者及び配偶者氏名・基礎年金番号・相談内容・電話番号等を役場本庁町民課町民係まで申し込みください。尚、必ず相談時間をご確認(ご予約)ください。

日時 4月28日(木)
午前9時40分から
午後3時20分まで
会場 宮之城ひまわり館

申込先

4月20日(水)まで
本庁町民課 町民係

(内線 2125)

● 国民年金の手続きをお忘れなく!

会社を退職されたときは国民年金の届出が必要です。20歳以上60歳未満の方は、国民年金への加入が法律で義務付けられ

ています。

会社を退職されたときは、厚生年金から国民年金(第1号被保険者)への変更の届出が必要となり、また、厚生年金に加入していた方に扶養されている配偶者(第3号被保険者)の方も、第1号被保険者への変更の届出が必要です。

年金手帳、退職が確認できる書類、ご印鑑をお持ちのうえ、役場町民係または川内年金事務所へ「国民年金被保険者種別変更届」を提出してください。

なお、平成23年度の国民年金の保険料(定額)は、月額15,020円です。

■ 学生の皆様へ!

20歳以上の学生の方は、学生納付特例の申請ができます。この申請が承認されると、平成23年度の国民年金保険料の納付が猶予されます。

学生納付特例中の怪我や病気で、障害が残った場合等、障害の状態等により障害年金を受けられることができます。申請をご希望される方は年金手帳、学生証をお持ちのうえ、

役場町民係か年金事務所の窓口で手続きをしてください。

なお、平成23年2月までに学生納付特例の承認を受けた方には申請書(八ガキ)が届きますので、引き続き同じ学校に在学される方で平成23年度も学生納付特例をご希望される場合は、必要事項をご記入のうえ、必ずご返送ください。

福祉課 子ども福祉係
内線 2133

● 児童扶養手当の金額の改定について

ひとり親家庭等に対して、県から支給される児童扶養手当について、平成23年4月からの手当額が改定になりました。改定額は次のとおりです。

- ・ 全部支給
月額 41,550円
- ・ 一部支給
月額 (170円) ~ (170円)
- ・ 特別児童扶養手当の手当額の改定について
20歳未満で、身体または精神に重度または中度

以上の障害をお持ちの子さんを監護されている方に対して、県から支給される特別児童扶養手当について、平成23年4月からの手当額が改定になりました。改定額は次のとおりです。

- ・ 1級
月額 50,500円
- ・ 2級
月額 33,670円

福祉課 福祉障害係
内線 2134

● 特別障害者手当等の手当額の改定について

在宅の重度障害者(児)に対して県から支給される特別障害者手当、障害児福祉手当及び経過的福祉手当について、平成23年4月からの手当額が改定になりました。改定額は次のとおりです。

- ・ 特別障害者手当
月額 26,340円
- ・ 障害児福祉手当
月額 (100円)
- ・ 経過的福祉手当
月額 14,330円

月額 14,330円

また、制度の内容、申請等につきましては要件がありますのでお問い合わせください。

● 心身障害者扶養共済制度について
障害のある方を扶養している保護者が、自らの生存中に毎月一定の掛金を納めることにより、保護者に万一(死亡・重度障害)のことがあったとき、障害のある方に終身一定額の年金を支給する制度です。

掛金月額: 加入者の年齢により1口あたり9,300円 ~ 23,300円
加入には要件がありますので、詳細についてはお問い合わせください。

- 申請・お問い合わせ先
本庁 福祉課
福祉障害係
(内線 2134)
- 鶴田支所 保健福祉係
(内線 4113)
- 薩摩支所 保健福祉係
(内線 6122)

税務課 町民税係
内線 2112

● 軽自動車税の減免

4月は、軽自動車税の納期月ですが、身体障害者手帳・戦傷病者手帳・精神障害者福祉手帳及び療育手帳のいずれかの交付を受けている方や身障者用構造改造車の所有者は、一定要件を満たす場合に限り、申請によって当該年度における軽自動車税の減免を受けることができます。

減免申請は、納付書と一緒に身障者手帳等・運転免許証・車検証・印鑑を持って、4月25日(月)までに申請してください。昨年、減免を受けられなかった方も申請が必要です。

● 申請・お問い合わせ先

- 本庁 税務課
- 町民税係
(内線 2112)
- 鶴田支所 鶴田税務係
(内線 4214)
- 薩摩支所 薩摩税務係
(内線 6115)

税務課 資産税係
内線 2115

● 固定資産課税台帳等閲覧について

平成23年度の固定資産税課税台帳などの縦覧を次のとおり行います。縦覧は無料ですが、課税台帳の写しの交付は有料です。なお、本人の場合は印鑑、代理人の場合は印鑑と委任状をお持ちください。

期間 4月1日(金) ~ 5月31日(火)
ただし、土曜、日曜、祝祭日は除きます。
時間 午前8時30分 ~ 午後5時

場所 本庁税務課資産税係及び各支所税務係

災害復興対策課
まちづくり係
内線 2293

● かぐや姫グラウンドの利用申し込みについて

かぐや姫グラウンドの管理が、4月1日から指定管理者として(財)鹿児島県地域振興公社になります。

今後、かぐや姫グラウンドを利用される方は、北薩広域公園管理事務所に申し込んでください。お問い合わせ先

北薩広域公園管理事務所
電話 (21) 3939

川内川河川情報モニター募集

国土交通省では、河川に関する情報について、一般住民の方々の視点から再点検・改善してもらおうこと、及び河川防災・河川愛護等の普及啓発を行うメッセージャーになってもらうことを目的として、河川情報モニターを設けております。

今後の河川情報の的確な伝達を推進し、地域の皆様へより分かりやすい防災情報を発信するため、ふるってご応募ください。

募集人員: 若干名

任期: 平成23年6月1日~平成24年5月31日までの1年間

応募期限: 平成23年5月6日(金)

応募資格: 川内川流域にお住まいの方で、水防団員(消防団員)、自主防災組織・自治会・関連NPO等市民団体に携わっている方、その他日常的に川に接し、川に親しんでおられる20歳以上の方。

活動内容: 河川情報についてのモニタリング活動、地域住民の方々へ河川防災意識の普及啓発活動、出水時の自宅から見える範囲での浸水情報伝達活動

謝 礼: 当所規定により、支給いたします。

応募方法についての詳しい内容については、下記にお問い合わせ下さい。

なお、川内川河川事務所HP (<http://www.qsr.mlit.go.jp/sendai/>) に詳細を掲載しております。

■ 川内川河川事務所 宮之城出張所 事務係長 (電話 53-1756)

■ 川内川河川事務所 管理課 管理係 (電話 22-3430)

がんばれ 認定農業者!! シリーズ 59

さつま町船木

おぐら こういち
小倉浩一さん 49歳



小倉浩一さんは、平成13年3月に認定農業者として認定されました。

現在、お茶5.2haを経営されています。「仕事が短期に集中する時期があり、作業が重なり大変です」と苦勞を話されます。「農業は自分で頑張った分だけ成果になって表れる」と魅力を話される小倉さんは、昨年度まで船木区の体育部長をされるなど地域振興にも余念がありません。

また、この春から農業大学を卒業される息子さんも茶業に就かれることから「将来を見据えて息子へうまくバトンタッチができるように頑張っていきたい」と抱負を話されました。

町長交際費執行状況(2月分)

- 2月8日 10,500円 故 浜政辰氏葬儀告別式時供花
- 2月9日 5,310円 庁舎建設プロポーザル審査委員依頼時
- 2月10日 3,002円 さつま町橋りょう長寿命化修繕計画策定委員依頼時
- 2月13日 5,013円 宮之城ライオンズクラブ結成45周年記念式典時
- 2月14日 5,000円 町交通防犯活動謝礼
- 2月15日 2,000円 曾於市、日置市異業種企業等と、ものづくり企業振興会との交流会時
- 2月15日 2,216円 訴訟事案に係る弁護士との相談時
- 2月16日 1,000円 北薩地区茶業振興会総会時
- 2月16日 17,200円 東京さくらじま会総会時
- 2月19日 4,950円 新地・岩元公民会合併調印式時
- 2月20日 3,040円 平川区・時吉区交流会時
- 2月20日 10,920円 町民大会講師地元産品提供等
- 2月23日 4,494円 県下一周駅伝競走大会川薩チーム解団式時
- 2月26日 3,400円 川内川漁協宮之城支部総代会時

- 21日(月) 県下一周駅伝激励 家族経営協定合同調印式
- 22日(火) 臨時議会 地域医療現地懇談会(県医師会・郡医師会・関係機関団体)
- 23日(水) 町振興計画審議会 地域審議会(宮之城地区・鶴田地区)
- 24日(木) 鹿児島県町村会定期総会ほか(鹿児島市)
- 25日(金) 地域審議会(宮之城地区・鶴田地区)
- 27日(日) 春季全国火災予防訓練式 屋地区元気健康まつり
- 28日(月) 議会全員協議会 地域審議会(薩摩地区)

- 20日(日) 町グラウンドゴルフ協会新春大会 第6回町民大会 時吉区・平川区交流会
- 18日(金) 町土地開発公社理事会 かごしまグリーン・ツーリズムフォーラム
- 17日(木) 薩摩中央高校を育てる会 町国民健康保険運営協議会
- 16日(水) 河川激特現場進捗状況視察 警察署長との意見交換
- 15日(火) 町水道運営委員会 鳥インフルエンザ消毒現場激励
- 14日(月) 鹿児島県市町村職員共済組合全員協議会ほか 梅の花咲く薩摩ツアー(求名・中津川)
- 13日(日) 永野ウオーキング大会 宮之城ライオンズクラブ45周年記念式典
- 12日(土) さつま町立求名小学校校務分科閉校式
- 11日(金) 二渡がらつばボタルの会との意見交換会

- 9日(水) 虎居区公民館からの要望会
- 7日(月) ダム・発電関係市町村全国協議会理事会ほか(8日 東京都)
- 5日(土) 町PTA研究大会
- 4日(金) 交通安全メット抽選会
- 3日(木) 議会全員協議会
- 2日(水) 防犯協会表彰式 鳥インフルエンザ消毒現場激励
- 2月1日(火) 百歳到達お祝い訪問 薩摩川内市長との協議 川薩地区税務協議会

町長の動静

(平成23年2月) ※主な会議及び行事を抜粋(庁内の会議、打ち合わせは除く。)

■くらしの情報

●お問い合わせ:さつま町役場 TEL(53)1111 FAX(52)3514

健康増進課 健康増進係
内線2143

●健康診査日程

- 乳幼児健診・健康相談
- 1歳6ヶ月児 (H21・8生)
- 4月20日(水) 午後0時30分～午後1時
- 2歳児健診 (H20・2生)
- 4月27日(水) 午後0時30分～午後1時
- 3歳児 (H20・2生)
- 4月27日(水) 午後0時30分～午後1時
- 2歳児健診 (H21・4生)
- 5月12日(木) 午前9時～午前9時30分
- 2歳6ヶ月児 (H20・10生)
- 5月12日(木) 午後0時30分～午後1時
- 歯科健康診査 (H20・10生)
- 5月6日(金) 午前9時～午前10時
- 7～8か月児 (H22・9生) 相談
- 5月6日(金) 午後1時～午後1時30分
- 4～5か月児 (H22・12生) 産婦健康診査
- 5月11日(水) 午後0時30分～午後1時
- 母子健康手帳交付
- 4月25日(月) 午前9時30分～午前11時
- 5月9日(月) 午前9時30分～午前11時
- フッ化物塗布
- 4月20日(水) 午後3時～午後4時
- 4月27日(水) 午後3時～午後4時
- 5月12日(木) 午後3時～午後4時
- 総合健康相談
- 5月10日(火) 午前9時30分～午前11時
- 楽々健康ウォーク
- さわやか春風コース
- 4月10日(日) 午前8時
- 宮之城ひまわり館出発
- 湯の香ほんのりコース
- 4月23日(土) 午前8時
- 宮之城温泉街出発
- 福祉課 福祉障害係
- 内線2134
- 心配ごと相談所
- 毎週木曜日
- 午前10時～正午
- 宮之城ひまわり館
- お問い合わせ先
- 町社会福祉協議会
- ☎(52) 1123



- 火災 発生件数 1件
- 内訳 車両1件
- 救急 出動件数 88件
- 運んだ人 83人
- 内訳 急病 42件38人
- 交通事故 4件4人
- その他 42件41人

消防本部 ☎(52)0119

広告

充実した一年にしよう!!

MON-CHERI HOUSE

小学生 月6(月～金) ¥7,000

中学生 月6(月～金) ¥7,000

MON-CHERI HOUSE

広告

ちくりんスタンプ会イベント情報

スタンプを貼り終えた台紙に、貼ってご利用ください。このシールを貼ってある台紙はスタンプシールをプラス10枚差し上げます。

台紙2冊で タクシーチケット 1500円分と交換

台紙5冊で 新幹線 川内⇄鹿児島(往復)と交換

九州新幹線 全線開通にあわせて 博多⇄出水 チケットと交換中!!

スタンプシール プラス 10枚

有効期限 平成23年4月30日

詳細は、ちくりんスタンプ会まで ☎53-1141(町商工会内)

広告

薩摩郡医師会病院診療案内 (H23.3.1～)

診療科	月	火	水	木	金	土
内科	神野	神野		神野	神野	
神経内科		花田	花田		花田	交代制
救急科	益崎	益崎	益崎	益崎		
循環器内科			福岡	堀之内(第2・第4)	早川	
消化器内科				倉元	倉元	倉元
外科	緒方	緒方		緒方	緒方	大学
整形外科	吉松	吉松	吉松	吉松		
泌尿器科	平川	平川	平川		平川	
放射線科	林田	平木		林田	林田	

*健診(人間ドック)、循環器内科、泌尿器科は予約制です。(TEL0996-53-0326)

～広報紙に広告を掲載しませんか? 広告主大募集!～

●広告掲載料 ・広報さつま 1枠 1万円(縦6.0cm×横8.5cm)
お問い合わせ先: 役場 総務課 広報文書係(内線2214)

1歳で～す
毎月1番最初に
生まれた赤ちゃん

しばた ひびき
柴田 響くん

平成22年4月1日生



父 幸 児 さん
母 奈津子 さん

町頭 公民会

両親から一言
いつも笑顔でいてね!

篤志寄付
町社会福祉協議会へ

- 生涯学習県民大学
- 「薩摩中央高校芸術講座」
- さつま町更正保護女性会
- 紫尾区大衆浴場 上之原純夫
- さつま町母子寡婦福祉会

誕生おめでとう
2月16日(3月15日届出分(5人) 敬称略)

あかちゃん 萌 保護者 公民会

松尾 琴音 女 秀 一下川口

春田 翔太 男 篤宏 あながわ

松永 凛 女 和 浩 東谷

井上 葵 女 章 京塚原

徳留 玲 女 亮 山崎中

おくやみ申し上げます
2月16日(3月15日届出分(37人) 敬称略)

なくなつた人	年齢	公民会	なくなつた人	年齢	公民会
上之原 忠	78	西手西	有馬 秀吉	98	東谷
現王園フクエ	93	白男川中	小田 君	87	湯田中
谷口 臺藏	76	二渡	赤崎 清秀	78	搦
富澤 敏男	89	浅井野	宮脇フサエ	85	角郷
前田 数男	86	田原	松田美代子	68	町頭
福永 草子	92	北原	田原タミ子	89	マモリエ
東條 タル	75	船木東	児玉マツエ	98	海老川
東 好子	93	虎居町	前野 信	87	轟原
中間 斌	83	本フタツン	井手 ユキ	84	きさら
上大迫重規	70	湯之元	白石 純夫	84	ほたる
榎園 ヤエ	93	鶴田南	時吉 勲太	91	マモリエ
永松 忠光	86	金山	神野 隆昭	79	紫尾下
知識 ノブ	100	町頭	羽子田光男	61	西手西
楠八重トヨ子	77	きらら	久留須ミヨ	81	西町
中村 初江	91	大俣	市園 靖	86	愛宕
山口 俊光	83	二渡	原 正次郎	86	須杭
木原 史生	65	八幡馬場	宮之脇ミチエ	87	紫尾中
門前 信義	84	小路下手	栗野ヨネ子	71	栗野
			満園 政徳	83	紫尾中

※「誕生・おくやみ」は、届出人が同意された方だけ掲載しています。

■東北地方太平洋沖地震義援金の義援金箱を設置

東北・関東地方では地震とそれに伴う津波により、甚大な災害が発生しています。被災された皆様、犠牲になられた皆様には心からお見舞い申し上げます。町では、平成9年の東北西部地震及び平成18年の豪雨災害により全国の方々から温かい義援金をいただきました。被災地の一刻も早い復興のため、町民の方々から義援金を募ることにしました。

義援金箱を左記の場所に設けてありますので、ご協力をお願いいたします。

■義援金箱の設置場所

さつま町役場本庁(町民課窓口)

〃 〃 鶴田支所

〃 〃 薩摩支所

さつま町社会福祉協議会本所(宮之城ひまわり館)

お問い合わせ先

さつま町役場(本庁) 福祉課福祉障害係(内線2134)

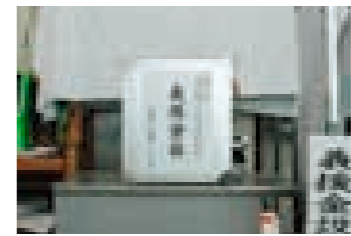
さつま町社会福祉協議会 電話(52) 1123

薩摩中央高校生徒も募金活動!



薩摩中央高校のボランティア団体「Sクラブ」と生徒会の生徒30人が3月16日、募金活動を行いました。

この活動を通して生徒からは、「地域の皆さんの気持ちがとても嬉しかった、私たちには募金を呼びかけることしかできないけれど、被災地の皆さんに少しでも役に立ててもらえたら嬉しい」と感想が寄せられ、1時間の活動で12万円ほどの募金が集まりました。



本庁舎玄関前に設置された義援金箱

こんにちは保健師です 健康さつま21

～「変化」の春です。あなたの心は疲れすぎていませんか?～

春は、汗ばむほど暖かい日があるかと思えば、冷たい雨が降ったりと気温や気圧が不安定なため、何となくだるい、疲れやすいといった不調を来しやすい季節です。またその他にも、新しい生活が始まる季節でもあります。社会人なら就職や異動、学生なら入学や進学といった出来事(ライフイベント)があり、それに伴い生活が変化します。

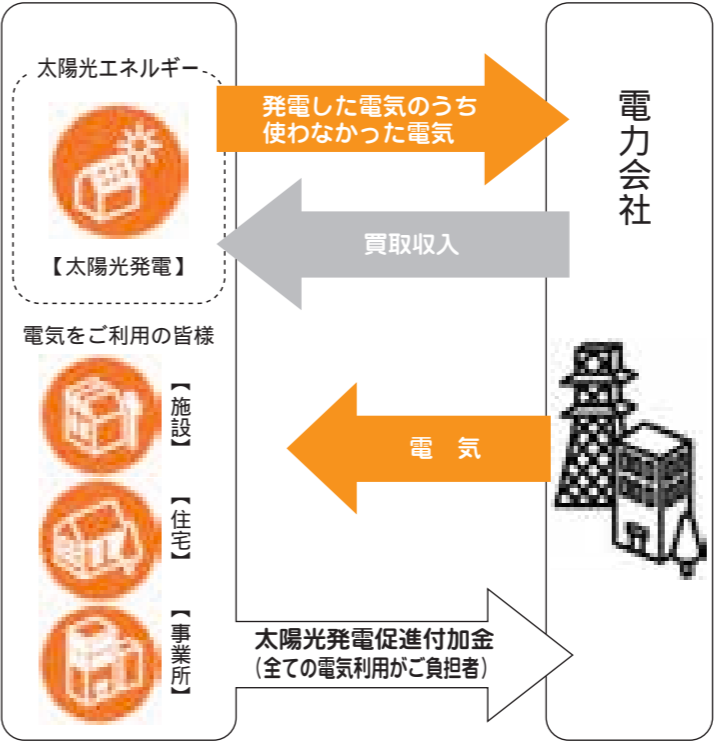
新しい生活が始まると、期待に胸がふくらむ一方で、環境に適応するのに普段より多くのエネルギーを必要とします。新しい環境に早く慣れようと頑張りすぎていませんか?よく眠れない日が続いている、以前は楽しめていたことが楽しめなくなった、イライラすることが多くなった、口数が少なくなったなど、気になる変化はありませんか?このような症状があれば、心の調子が崩れている可能性があります。

このような時は、 休養をとる 気分転換をする 信頼できる人に相談するなど、自分でできる方法で気持ちが楽になることがあります。精神科・心療内科の専門の治療を受けることで早く元気な状態に戻る場合もあります。

様々な相談に対し「北薩地域の相談窓口一覧」も準備しておりますのでお気軽にご相談ください。

電話相談・相談窓口についての、お問い合わせ先
川薩保健所 (電話 23-3165・3166) 役場 健康増進課 健康増進係(内線2143)
24時間無休対応の「いのちの電話(099-250-7000)」もあります。

太陽光発電促進付加金の負担が始まっています



平成21年11月から太陽光発電の余剰電力買取制度がスタートしています。その買取に要する費用を、本年4月分から電気料金の一部として、電気を使用するすべての人が負担する制度が始まりました。

この制度では、毎月の電気使用量1kWh当たり0.07円の太陽光発電促進付加金が加算されます。標準家庭で1ヶ月の電気使用量が300kWhの場合、21円程度となり、この負担額は太陽光発電の普及のために使われます。

今後の太陽光発電の普及・拡大を推進するため本制度へのご理解をお願いいたします。

～お問い合わせ先～
経済産業省資源エネルギー庁
再生可能エネルギー推進室
電話 0570-057-333
<http://www.enecho.meti.go.jp/kaitori/>

みなみ ゆりの
南 結莉乃 さん

宮之城中学校 3年



自衛隊に憧れて！

わたしの夢は自衛隊に入ることです。その中でも看護師として働きたいです。理由は、まず幼い頃から看護師さんになりたいと思っていたからです。また、小学校5年生の頃に日本を守る自衛隊に憧れをもったことです。兄が自衛隊に入隊して初めて帰省した時、礼儀作法や言葉遣いがとても良くなっていたことに驚き、感動したのです。看護師として、このような方々のお世話を通して、わたしも少しでも日本に貢献したいです。

休日在宅医

4 月			
10日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326	
17日	小緑内科	☎52-1676	
24日	海江田医院	☎53-0006	
29日	クオラリハビテーション病院	☎53-1704	
5 月			
1日	益寿医院	☎57-0010	
3日	立志病院	☎55-9119	
4日	さつまクリニック	☎57-0020	
5日	さくらクリニック	☎53-1451	
8日	薩摩郡医師会病院	☎53-0326	
15日	てらだ内科クリニック	☎21-3232	

休日薬局

4 月			
10日	青空薬局	☎52-0101	
17日	とどろ薬局	☎52-2525	
24日	タバタ薬局	☎21-3344	
29日	やまだ薬局	☎52-4585	
5 月			
1日	ぎんざ薬局求名店	☎31-6500	
3日	フタヤ薬局	☎59-2033	
4日	とどろ薬局	☎52-2525	
5日	きりん薬局	☎52-2033	
8日	青空薬局	☎52-0101	
15日	さし薬局	☎21-3610	

わたしたちの町

推計人口による
 人口 24,048人 (- 14人)
 男 11,095人 (- 9人)
 女 12,953人 (- 5人)
 世帯数 9,930世帯
 転入 48人 転出 35人
 出生 13人 死亡 40人
 (平成23年3月1日現在)
 ()は前月対比

※休日在宅医や薬局は都合により、変更になる場合があります。受診の際は、医療機関に電話で確認してください。町のホームページでも紹介しています。